

第2期遠野スタイル創造・発展総合戦略のK P Iの実績について（令和2年度）

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和2年度における新型コロナウイルスの影響及び対策
【重点プロジェクト1】 雇用確保のための内発型・外発型商工業の振興	1	納税義務者の総所得金額	百万円	商工労働課	25,636 (R1)	目標数値	25,933	26,239	26,548	26,861	27,178	98.3	未達成	市内企業の雇用人材確保・若者地元定着の取組とともに、事業の生産性向上に向けた取組により、これまで下降傾向にあった市民所得全般が、働き方改革の実行とコロナ禍による市民所得の押し下げ圧力が懸念されたものの、特に給与所得と営業所得が増加に転じ、市民所得の向上が図られた。	金融機関と連携した資金繰り支援を講じたほか、中小企業者の事業継続と、市内における消費喚起のための地域経済対策を講じた。国、県、市の連携による財政支援等により、コロナ禍で沈む地域経済を支えることができた。
						実績値	25,498								
	2	納税義務者数	人 (個人)	商工労働課	10,648 (H30)	目標数値	10,707	10,766	10,826	10,886	10,946	98.8	未達成	人口減少と高齢化の進行により納税義務者数は減少傾向が続いており、若者の雇用確保・地元定着に取り組んだものの、若者の市外流出の抑制に至らなかった。 今後、市内のみならず、市外からの雇用確保に向けた情報発信と人材確保に向けた支援策の充実に取り組み必要がある。	コロナ禍において、市内の有効求人倍率が国内、県内よりも高く推移し、人手不足が顕著に表れていることから、新型コロナ経済対策として、新規雇用創出事業費補助金などにより、23社56人の新規雇用を支援した。
						実績値	10,574								
	3	納税義務者数	社 (法人)	商工労働課	654 (R1)	目標数値	655	650	651	652	653	99.4	未達成	法人数は微減傾向が続く中で、ものづくり関連の本社移転等の企業立地や、地域商社機能を有する法人設立等に取り組んだものの、令和2年度の法人市民税の納税義務者数は3社減少した。 今後、ものづくり産業の振興と中心市街地活性化等の商工業振興を図る上で、既存事業者の事業継続支援とともに、創業支援に取り組む必要がある。	コロナ禍において、中小企業者の事業継続を支援するため、事業者の固定費負担軽減策を講じた。 また、コロナ収束後の景気回復を見据えた企業の設備投資を支援し、事業の生産性向上を促進した。
実績値						651									
4	製造品出荷額	億円	商工労働課	717 (H29統計)	目標数値	732	430	500	530	560	99.9	未達成	製造品出荷額は、工業統計調査の公表をもって実績値を把握しており、令和2年度の実績値は平成30年度実績を記載している。 平成30年の製造品出荷額は、企業の設備投資を促進するための税制支援、財政支援、金融支援、行政支援の各支援措置を適切に講じることで、目標値の732億円に近づける事が出来た。	コロナ禍収束後の景気回復を見据え、企業の設備投資を促進するため、商工業再生・持続化補助金により、事業の生産性向上を支援した。	
					実績値	731									
5	年間商品販売額	億円	商工労働課	360 (H28統計)	目標数値	361						-	（年間商品販売額について、経済センサス活動調査により実績値を把握しており、令和2年度の実績値は、令和5年6月公表予定。） 人口減少による域内購買力が低下しているうえ、令和2年度はコロナ禍による経済活動の縮小もあるため、市内の年間商品販売額は目標値の361億円を下回ると推測される。 中心市街地をはじめ市内商業の実態調査から取り組む必要がある。	コロナ禍において、中小企業者の事業継続を支援するため、事業者の固定費負担軽減策を講じた。また、中小企業団体や商工団体による消費喚起対策を支援した	
					実績値	-									
【重点プロジェクト2】 タフな農林畜産業の6次産業化と新たな仕事の創出	6	農家世帯割合	%	農林課	41.09 (R1)	目標数値	41.20	41.31	41.42	41.53	41.64	99.0	未達成	令和2年度の農家世帯数については、前年度と比較して50世帯減少し、農家世帯割合について目標達成に至らなかった。 今後においては、遠野市農林水産振興ビジョン（タフ・ビジョン）に基づく農林水産業の各種施策を進め、農家世帯の増加を目指す。	
						実績値	40.79								
	7	新規就農世帯数	世帯	農林課	2 (H30)	目標数値	7	7	7	7	7	71.4	未達成	農地法第3条を活用し、新規で農地を取得または借りた世帯数は5件に留まったが、農業に関わる人口の維持に一定程度の役割を果たすことができた。 また、新規に認定農業者の登録を行った世帯もあり、以下の実績となっている。 (1) 認定新規就農者から認定農業者への切替 3件 (2) 個人による新規認定農業者登録 4件 (3) 法人による新規認定農業者登録 3件 合計 10件	
						実績値	5								
8	重点野菜出荷額	億円	畜産園芸課	1.9 (H30)	目標数値	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	104.5	達成	重点推進品目のうち、ほうれんそうについては、栽培面積及び生産額が年々減少している。ニラについては、面積は減少したが販売価格が高単価であったため、生産額は前年度を上回った。 ピーマンとアスパラガスについては、栽培面積及び生産額ともに年々増加しており、特にピーマンは単一品目で販売額1億円を3年連続で超えた。 今後も安定生産を目指し、アスト加速化事業の周知を図るとともに関係機関と連携した支援を実施しながら産地としての支援を継続する。		
					実績値	2.3									
9	農産物直売所売上額	億円	畜産園芸課	5.9 (H30)	目標数値	5.7	5.7	5.8	5.9	6.0	84.2	未達成	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令等により、入込数、売上額ともに前年度を下回った。特に、市外からの来客が多数の道の駅内の産直が大幅に減少した。 今後は、感染防止対策を行いながら、各産直個々の魅力を高める取組をし、売り上げの回復を目指す。	各産直施設において一時的に休業や時短営業を実施したことと合わせて、売上向上に向けたイベント等も中止したため、入込客が減少した。 産直連絡協議会を通じて、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、ガイドラインに沿った施設運営を徹底した。	
					実績値	4.8									

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和2年度における新型コロナウイルスの影響及び対策
	10	6次産業化関連効果額	億円	商工労働課 六次産業室	18.2 (H30)	目標数値	18.3	18.5	18.5	18.5	18.5	79.8	未達成	令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大により、道の駅、市内農産物直売所において販売額及び来場者が減少、市内食料品加工業事業者の出荷額についても前年を下回った。 今後も継続して、新型コロナウイルス感染症終息後を見据えた商品開発や販路拡大に取り組む事業者を六次産業チャレンジ応援補助事業により支援していく。	感染症拡大により道の駅や産直施設の実場者、販売額は減少したが、新型コロナウイルス対策の関連予算として、六次産業チャレンジ応援補助事業により、商品開発や既存パッケージ変更、インターネットサイト販売による販路確保に取り組む事業者を支援した。
【重点プロジェクト3】 観光振興と交流人口の拡大による「で・くらす遠野」定住の促進	11	移住者世帯数	世帯	観光交流課	6 (H30)	目標数値	10	10	10	10	10	70.0	未達成	移住定住イベントが全てリモートで開催される中、「で・くらす遠野」として常に移住希望者のフックアップ窓口を心がけ、近隣自治体や関係団体と広域的な連携で取り組んだほか、「で・くらす遠野」のホームページのリニューアルやインスタグラムを開設し、令和2年度は7世帯8人の移住につながった。 今後も、各種移住セミナーに積極的に参加するとともに、ホームページ等で遠野の魅力発信、リフォーム事業助成金の利用促進等、移住定住に向けた取組を展開していく。	対面で行っていた移住定住イベントが全てリモートで開催されたことにより、遠野の魅力や各種制度の周知が不十分であったため、移住希望者が知りたい情報や発信したい情報をリニューアルした「で・くらす遠野」のホームページやインスタグラムを使い臨時発信した。
						実績値	7								
12	観光客宿泊割合	%	観光交流課	13.64 (H30)	目標数値	13.71	13.77	13.78	13.78	13.78	111.7	達成	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響からイベントが中止となったことから、観光客の入込が大幅に減少した。 宿泊客については、4月16日発出の全国を対象とした緊急事態宣言と越境を伴う移動制限、県内の感染拡大等、観光客を対象とする宿泊施設は直接的に影響を受ける結果となったが、GoToキャンペーンや、県の地元割クーポン事業及び観光推進協議会が実施する宿泊応援クーポン事業などの宿泊支援策を実施したことによって、全体の観光客数は減少したものの、宿泊者の割合が高まった。	市は、宿泊施設に対し、感染症対策（ガイドライン）の周知や、年間を通じた手指消毒液や不織布マスク等衛生物品の配布、県が実施する観光宿泊施設緊急対策事業費補助金の周知のほか、当該補助金の対象とならない指定管理施設に対し「観光事業者経営応援補助金」の交付を行った。 さらに、観光推進協議会が実施する宿泊応援クーポン事業や回遊クーポン事業に「地方創生臨時交付金」を活用して財源の支援を図ったほか、当該協議会における特別チームの設置及び当該事業の企画検討に共同で制度の構築を行った。 今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが予想されるため、各種クーポン事業等をPDCAサイクルに基づいて効果検証を行い、実施団体や関係団体との連携を強化していく。	
					実績値	15.31									
13	地域間交流者等受入数	人	観光交流課	861 (H30)	目標数値	900	900	900	900	900	22.0	未達成	令和2年度は、6つの友好都市をはじめとする交流市町村との相互交流事業や、市内でのイベントが中止となったことから、遠野みらい割りカレッジを拠点とした首都圏大学生の研修受入れのみが実施され、目標を大きく下回ることとなった。 今後は、ポストコロナを見据えた交流の在り方を検証しながら、交流人口の拡大を図っていく。	移動の制限等により6つの友好都市をはじめとする交流市町村との相互交流事業や市内イベントが中止となり交流者等の受入れができなかったことから、今後について、感染症対策の徹底等を含めた受入れ体制について関係団体等と検討を進めていく。	
					実績値	198									
14	で・くらす遠野市民新規会員割合	%	観光交流課	18.6 (H30)	目標数値	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0	78.6	未達成	友好都市との交流事業や遠野郷人会総会が中止となったことにより、「で・くらす遠野」市民制度の直接的なPRを行うことが難しく、新規会員の増加につながらなかった。 令和2年度は「で・くらす遠野」のホームページをリニューアルするとともに、会員の申込から決済手続きまでをホームページ上で完結できるよう利便性の向上を図った。 今後は、「で・くらす遠野」市民制度の周知に努め、会員の増加につなげていく。	友好都市との交流事業や遠野郷人会総会が中止となり、「で・くらす遠野」市民制度の直接的なPRができなかった。 そのため、情報発信機能強化のため「で・くらす遠野」のホームページをリニューアルするとともに、インスタグラムを開設し、遠野の魅力や市民制度等の情報発信を充実させた。	
					実績値	16.5									
【重点プロジェクト4】 「子育てするなら遠野」の推進	15	合計特殊出生率	人	子ども政策課	1.71 (H30)	目標数値	1.72	1.74	1.76	1.78	1.80	100.6	達成	合計特殊出生率は、1.73（令和元年度）で目標を上回る実績となった。 幼児教育・保育無償化に伴う副食費助成や学童保育の無償化、ファミリー・サポート・センター事業など、安心して産み育てられる環境づくりのため、妊娠から出産、子育てまで、切れ目のない支援を継続していく。	感染症拡大の長期化により、仕事や将来への経済的な不安、子育ての負担増などで出生数の減少に拍車がかかっていると思われる。 安心して産み育てられる環境づくりを図るため、「第2次遠野わらすこプラン（令和2年度～6年度）」の着実な実行と子育て世帯に寄り添った取組を検討していく。
						実績値	1.73								
16	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	%	子ども政策課	91.1 (H30)	目標数値	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0	101.7	達成	前年度実績を上回り、目標値を達成することができた。少子化や核家族化、地域のつながりの希薄化により、親の子育てにかかる不安や負担が増大している現状において、すべての親が妊娠から子育て期まで切れ目のない支援を受けられるよう体制を充実させる必要がある。また、この地域で安心して子育てができるよう相談先の充実や環境の整備に努める。	年度当初は緊急事態宣言発令に伴い、妊娠から子育て期における各事業の縮小、延期をおこなったことから、十分に相談できる機会が減少した。 事業再開後は、3密を避ける工夫と感染予防策の徹底に努め、可能な範囲での事業を実施した。さらに個別での随時相談や電話相談を行い、コロナ禍でも親が安心して子育てできる体制の充実に努めた。	
					実績値	93.6									
17	わらすこ条例応援認定事業者数	事業者	子ども政策課	34 (H30)	目標数値	40	41	42	43	44	110.0	達成	地域全体で子育てを応援する環境づくりを図るため、子育て支援を積極的に実施している事業者をわらすこ条例応援認定事業者として令和元年度に6事業所、令和2年度に4事業所を認定した。（総計1事業所） 今後は、仕事と子育てを両立できる環境づくりと子どもの育成に関する活動支援のため、市内事業所に普及啓発を図っていく。		
					実績値	44									
【重点プロジェクト5】 高齢者の自立と社会参加の促進	18	ICT健康づくり事業参加者数	人	健康長寿課	1,042 (H30)	目標数値	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	85.2	未達成	目標には及ばなかったものの、令和2年度の新規参加者は299人、継続率86.6%と高水準の結果であった。国民の7割を占めるとされる健康無関心層がインセンティブ（健康ポイント）をきっかけに、無関心から健康維持へと行動変容できている。 地域での計測会及び運動教室の実施、市内事業所と協働した働き盛り世代への健康支援、健康アンバサダー養成など、市民の健康意識の向上に努め、健康寿命の延伸、医療費及び介護給付費の抑制、地域経済の活性化に寄与している。 今後は市民の健康づくりを応援し、地域の活性化に努めていく。	地域での計測会及び運動教室の中止（緊急事態宣言下）や、各種イベントの中止により新規参加者獲得が困難であった。 感染症対策を徹底し、計測会及び運動教室を早期に再開し、健康二次被害などの影響を最小限に抑えた。
						実績値	1,448								

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和2年度における新型コロナウイルスの影響及び対策
	19	シルバー人材センター会員就業率	%	健康長寿課	100 (H30)	目標数値	100	100	100	100	100	100.0	達成	令和2年度の会員数は、新たにテレビCMを制作し遠野テレビで放映するなど新規会員獲得に向けた取組を実施したが、退会者数の増により前年度比7人減の203人、就業延人員も前年度比919人減となった。一方、家庭等における軽易な修繕や作業、市委託事業としての軽度生活援助事業など、地域に密着した就業機会の提供を行い、就業率は100%と高齢者の生きがいの充実が図られた。今後も補助金交付などにより、働く意欲のある高齢者の会員確保と受託事業の新規拡大の支援を行っていく。	
【プロジェクトX】 人と人のふれあいによる“しあわせ度”の向上	20	遠野市ひとパワー（10の市民協働事業への参加者）	HP（ひとパワー）		45,010 (H30)	目標数値	45,000	44,500	44,000	43,500	43,000	51.7	未達成	遠野市のひとパワーの測定は、以下の10事業の参加者である。10の事業の多くが新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けており、「遠野まつり」及び「町民運動会」に至っては、事業そのものが中止となっており、実績値が0である。今後、新しい生活様式に対応しながら、各種イベントを実施していくことが必要であり、感染防止の徹底をしながら取組を推進していく。	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、遠野まつりを始めとした各種イベントが中止となったほか、実施した取組も、3密を回避するために参加者数を制限するなどしたことから、目標を達成することができなかった。
	20-1	日本のふるさと「遠野まつり」参加者数	人	観光交流課	10,000	実績値	0							令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から中止となったが、「遠野まつり50周年記念特設サイト」を開設し、郷土芸能団体の紹介や、これまでの画像や映像を公開して、令和4年の遠野まつり50周年に向けた機運の醸成等を図った。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は中止となった。
	20-2	市民協働の芸術文化事業の参加者及び鑑賞者数	人	生涯学習スポー	8,328	実績値	2,978							遠野市民芸術祭や市民の舞台遠野物語ファンタジーは開催したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術文化事業などを中止したことにより鑑賞者が減少した。今後も、ガイドラインに即した新型コロナウイルス感染症対策を講じる。また、関係団体が主催する芸術文化事業の支援を継続するとともに、遠野市芸術文化協会等と連携し、市民の鑑賞意欲が高まるような自主事業に取り組む。	新型コロナウイルス感染症対策として、館内の消毒の徹底や、体温測定専用サーモグラフィシステムの導入による感染防止対策により鑑賞者の安全を図れたことで、本来の規模には及ばないものの、次年度につなげることができた。
	20-3	博物館講座等の受講者数	人	文化課	1,333	実績値	1,144							市内小中高校と連携し、ニーズに応じた博物館教室を実施した。遠野緑峰高等学校への出前講義や青笹地区センターへの移動展示などのイベントも積極的に実施し、目標を達成することができた。引き続き、関係機関と連携を深めながら実施する。	新型コロナウイルス感染症対策として、少人数のグループ分けを行い案内するなど、密にならないように努めた。講座等の際には手指のアルコール消毒、体温測定、定期的な換気を実施した。
	20-4	みんなで築くふるさと遠野推進事業参加者数	人	市民協働課	3,717	実績値	3,039							全11地区が「地区まちづくり一括交付型事業」に移行してから3年目の取組となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度の参画者数は前年度と比べて92人減の3,039人となったが、買い物支援事業や除雪支援事業など地域課題を「住民が自ら考え、判断し、実践・解決する」住民自治の取組意識が醸成された。今後は、新型コロナウイルス感染拡大防止と並行しながら、既存事業の見直し、新規事業の組立を行い、地域課題につなげていきたい。	人が集まるイベント、高齢者サロン等の地域交流事業の多くが中止となり、参画者が減少となった。今後は新型コロナウイルス感染拡大防止と並行しながら、既存事業の見直し、新規事業の組み立てを進めていく必要がある。
	20-5	環境整備事業（市内一斉河川清掃・花いっぱい運動）参加者	人	環境課 市民協働課	10,688	実績値	10,407							（市内一斉河川清掃：6,208人） 河川清掃の参加者は、まちづくり指標の令和2年度目標値を1,042人回った。人口減少や高齢化により参加が困難な世帯が増加傾向にあるが、地域活動への参加意識は依然として高く、地域住民の協力により、河川の環境保全を図ることができた。 （花いっぱい運動：4,199人） 花いっぱい運動の参加者数は前年比266人増の4,199人となった。各地区センターや自治会で花壇整備を行い、地域を多数の花で彩ることができた。景観への配慮、世代間交流の場となっていることから、新たな担い手の参画も目標に、今後も継続して進めていきたい。	（市内一斉河川清掃） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作業時はマスクの着用及び十分な距離を確保し、接触を避けて作業を行うよう協力依頼を行った。 （花いっぱい運動） 各行政区や自治会単位での活動が主であったことから、参加者数について新型コロナウイルスによる影響は大きくなかった。 今後は、マスクや手袋の着用など感染防止対策に努めながら事業を行っていく。
	20-6	介護予防に資する住民主体の通いの場への参加者数	人	健康長寿課	60	実績値	74							新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年度当初より予定していた通いの場の新規立上げ支援を延期し、令和3年2月より本格的な支援を開始。2団体の新規立上げとなった。フレイルの予防、健康寿命の延伸に向け、持続可能な介護予防活動の地域展開を今後も進めていく。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、通いの場の新規立上げ支援を延期した。感染症対策に不安を感じ、活動を休止した既存団体に対し、手紙や電話で助言を行い、活動再開に向けた支援を実施した。また、活動再開初日には保健師が会場に出向き、講話・実技指導を行った。
	20-7	認知症サポーター養成講座受講者数	人	健康長寿課	190	実績値	181							認知症について正しく理解し、認知症の方や家族への応援者（サポーター）として地域で活動する方を認知症サポーターといひ、全国的な取組が展開されている。令和2年度は、小学校、高等学校、企業、地域等、市内9か所で講座を実施した。対象別に、認知症の理解を深めるための工夫を行い実施した。	前年度からの実施希望団体等を含め、講座の中止等の措置は行わず、感染予防に配慮しながら実施した。
	20-8	遠野市緑化祭参加者数	人	農林課	491	実績値	80							新型コロナウイルスの影響により、中止も検討されたが、例年よりは小規模で3密を回避できるように工夫し、緑化祭を行った。「子供が描く未来を地域の手でつくる自然と地域が共生する未来につなぐ森林づくり」をテーマに、宮守小学校の児童から提案された銀河の森の活用案を地域の大人の手に実行した。	新型コロナウイルスの影響により、関係者のみの参加とし、例年のような500人規模の参加者を集めることはできなかった。

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和2年度における新型コロナウイルスの影響及び対策
	20-9	町民運動会参加者数	人	生涯学習スポーツ課	4,498	実績値	0							新型コロナウイルスの全国的な感染拡大により、予定していた地区での開催は中止となった。 こどもからお年寄りまで、多くの市民が集まるイベントであるため、中止はやむを得ない判断だった。	多くの市民が参加するイベントの実施が困難な状況である。感染状況や感染防止対策を勘案しながら、町民運動会の実施について各地区と協議していく。
	20-10	遠野みらい創りカレッジ参加者数	人	生涯学習スポーツ課	6,106	実績値	5,384							「ふれあいながら学ぶ」をコンセプトに、人と人の対面活動を基本とする事業展開であるものの、新型コロナウイルスの影響による移動制限により、事業規模を中止・縮小せざるを得なくなった。一方で、テレワークセンター機能を最大限活用することで、幅広い交流につなげられた。	首都圏等在任者による来訪を伴う事業を中止または規模縮小とした。中止等による交流人口への影響は約900人の減少と推計。活動実施の際は、検温・手指消毒・体調確認・換気・「もしやが岩手」登録を徹底した。
【分野横断プロジェクト1】 地方創生拠点「遠野風の丘」発展プロジェクト	21	道の駅「遠野風の丘」の販売額	千円	三セク・まち活企画室	597,266 (H30)	目標数値	597,266	697,266	727,266	737,266	747,266	55.1	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響等により、目標を達成することができなかったが、リニューアル工事に伴い全国モデル道の駅としてゲートウェイ機能を拡充した。改修により施設床面積が改修前の1.3倍となったことで、研修室やチャレンジショップスペースなども新設することができた。 また、売り場改善研修会やオンラインショップの充実、新商品の開発支援、遠野ふるさと商社の経営課題の整理や経営候補人材の採用準備など、ソフト面からも当該施設の魅力向上と機能強化に努めた。 引き続き、遠野ふるさと商社の経営力向上に取り組み、販売力強化と域内経済の好循環を目指す。	新型コロナウイルスの影響のほか、工事の影響で一定期間休業が必要となったことなどが重なり販売額減の要因となった。 仮設店舗営業においては、感染症予防対策としてパーテーション設置、店舗内換気、加湿などを行いながら営業したほか、屋外テントを活用しながら販売・飲食スペースの確保に努めた。
						実績値	329,186								
	22	道の駅「遠野風の丘」年間入込数	人	三セク・まち活企画室	885,187 (H30)	目標数値	885,187	985,187	1,005,187	1,010,187	1,015,187	62.0	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響等により、目標を達成することができなかったが、リニューアル工事に伴い、曲り家をイメージした遠野らしい趣のある施設に生まれ変わらせることができた。 また、売り場改善研修会や新商品の開発支援、遠野ふるさと商社の経営課題の整理や経営候補人材の採用準備など、ソフト面からも当該施設の魅力向上と機能強化に努めた。 当該施設を通じて当市の持つ魅力を発信していくことで、リーダーを獲得しながら交流人口の拡大を図っていく。	新型コロナウイルスの影響のほか、工事の影響で一定期間休業が必要となったことなどが重なり入込数減の要因となった。 仮設店舗営業においては、感染症予防対策としてパーテーション設置、店舗内換気、加湿などを行いながら営業したほか、屋外テントを活用しながら販売・飲食スペースの確保に努めた。
						実績値	549,235								
【分野横断プロジェクト2】 遠野ふるさと再生プロジェクト ～ホップの里からビールの里へ～	23	ビールの里関連イベント参加者数	人	六次産業室	8,000 (H30)	目標数値	13,000	15,000	15,000	16,000	16,000	9.1	未達成	新型コロナウイルス感染症拡大により、ホップ収穫祭開催及びビアツーリズム受け入れは中止とした。 収穫祭については飲酒を伴ったため、ビアツーリズムも市外からの参加者が多いことから開催を見送った。 イベント開催に替わる取組として、オンラインホップ収穫祭を配信することによる情報発信を行い、新型コロナウイルス感染症収束後を見据えて共感できるビールの里づくりに取り組んでいく。	イベント開催が困難な状況下であったが、ビールの里ホームページ及び動画作成、プロジェクトの係りの顔が見える冊子（ビジョンブック）作成、遠野の食とクラフトビールをセットにしたホップボックスを作成し販売する等情報発信や企画商品作りを行った。
						実績値	1,189								
【分野横断プロジェクト3】 高校魅力化プロジェクト	24	地域みらい留学生の人数	人	学校教育課	0 (H30)	目標数値	11	11	11	11	11	9.1	未達成	遠野高校において県外から1名入学した。目標数値の11人に届かなかったが、県外からの入学者を確保できた実績を、次年度以降につなげていきたい。	
						実績値	1								
	25	地域社会から高校への応援者数	人	学校教育課	2 (H30)	目標数値	4	6	8	10	10	75.0	未達成	市内県立高校2校を応援するため、遠野高校への寄付2件、遠野緑峰高校への寄付1件があった。目標数値の達成はできなかったが、引き続き地域社会と各高校の関係を深め、応援者数の確保に努めていく。	感染症対策のため、例年2校で2000人以上の来校者のある学園祭などのイベント等も制限されたため、地域社会との交流機会が減少した。
						実績値	3								
	26	地域みらい留学フェスタの参加者数	人	学校教育課	0 (H30)	目標数値	12	24	36	48	60	1591.7	達成	地域みらい留学フェスタの開催方法が対面方式からオンライン開催に変更となった。このことから、遠方からの参加も容易になったことにより、目標数値を大幅に上回る191人の参加者があり、市内県立高校の魅力発信につながった。 今後も地域みらい留学フェスタを利用し、市内県立高校の魅力発信の充実を図りながら、県外からの入学者確保に努めていく。	新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏で開催予定であった地域みらい留学フェスタが、オンラインによる開催に変更となった。オンラインによる高校の魅力発信の難しさを感じた。
						実績値	191								
	27	遠野高校への入学者数	人	学校教育課	124 (H31)	目標数値	130	130	130	130	130	72.3	未達成	令和元年度の入学者数124人に対し、令和2年度入学者数94人と大幅に減少した。原因の一つに学区外入学者の減少があり、遠野高等学校の魅力発信を今後も継続し、入学者確保に努めていく。	
						実績値	94								
28	遠野緑峰高校への入学者数	人	学校教育課	58 (H31)	目標数値	60	60	60	60	60	95.0	未達成	前年度の入学者数58人に対し、令和2年度入学者数57人とほぼ前年並みの入学者数であった。遠野緑峰高校の魅力発信を今後も継続し、入学者確保に努めていく。		
					実績値	57									
29	高校とのコンソーシアム団体数	団体	学校教育課	39 (H30)	目標数値	40	42	43	44	45	155.0	達成	地域の人材育成を図ることを目的に、高校と地域の団体等との協働体制によるコンソーシアムを形成し研究等に取り組んだ。 参加した団体数は、遠野高校が7団体、遠野緑峰高校が55団体となり、目標数値を達成した。今後もこの取組を継続していく。	手指消毒や換気の徹底、可能な限り少人数で活動を行うなど、感染予防に配慮しながらコンソーシアム団体との活動を実施した。	
					実績値	62									
30	高校への支援活動者数	人	学校教育課	227 (H30)	目標数値	230	235	240	245	250	103.9	達成	地域の人材育成を図ることを目的に、高校が行う地域探求活動や研究活動に対する地域の支援者数は、遠野高校が49人、遠野緑峰高校が190人となり、目標数値を達成した。今後もこの取組を継続していく。	手指消毒や換気の徹底、可能な限り少人数で活動を行うなど、感染予防に配慮しながら地域探求活動や研究活動を実施した。	
					実績値	239									